

平成 23 年度埼玉精神神経科診療所協会事業計画 2011・05・15

1. 日精診・学会関連

- a.福岡総会中止⇒東京にて総会（平成 23 年 6 月 26 日）
日精診理事として佐藤理事参画
関東ブロック会議（恵会長ブロック長）
- b.地域福祉デイケア委員会
チーム医療地域リハ研修会⇒札幌（平成 23 年 10 月 15・16 日）
日精診 NSS サービス研究
- c.医療観察法等検討委員会
- d.会誌編集委員会
- e.児童青少年問題関連委員会
- f.選挙管理委員
- g.「医療心理師国家資格制度推進協議会幹事会」
- h.日本精神神経学会：心理技術職の国家資格化に関する委員会
- i.理事会「総務公益事業班会議」
- j.七者懇「法とシステム委員会」
- k.七者懇「心理職の資格化問題委員会」
- l.東北地方大地震への支援活動

2. 埼玉県行政等関連

- a.精神科救急システム輪番体制へ参画
- b.精神科救急医療システム運営会議への参画
- c.年末・連休等の輪番外救急診察
- d.精神保健指定医待機事業
- e.平成 19 年度学校・地域保健連携推進事業に相談医派遣（教育委員会）。
- f.埼玉県教育委員会との話し合い
- g.埼玉県教職員メンタルヘルス相談機関の増設（診療所 9 箇所）
- h.医療観察法
 - ・埼玉県医療観察制度運営連絡協議会への参画
 - ・「埼精診医療観察法研究会(仮称)」の再開も検討
- i.埼玉県警察職員メンタルヘルス相談（5 箇所）（イサオクリニック、航空公園クリニック、熊谷神経クリニック、有隣メンタルクリニック、南越谷メンタルクリニック）
- j.埼玉犯罪被害者援助センターへの参画⇒恵会長

3. さいたま市行政関連

- a.さいたま市精神保健医療検討会⇒自殺予防対策医療連携事業（GPE ネット）
- b.さいたま市指定自立支援医療機関指定審査会

- c.さいたま市精神障害者退院支援事業
- d.「さいたま市移送に関する協議会」
- e.さいたま市教育委員会との話し合い

4. 会員の拡大

5. 埼玉精診独自の事業（◎は新規事業）

- ◎事務局体制の充実
- ◎理事会議事録の作成
- 講演会：総会以外に7回（メーカーはランチョン形式、土曜日夜も加えてイブニングセミナー）
次回例会・講演会：6月4日土曜日ソニックビル19時から
演者鈴木利人教授（順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック）
「精神障害における妊婦、出産への対応ストラテジーを考える」
- 埼玉精診デイケア委員会
日精診NSSサービス研究
- 児童青少年問題委員会
 - a.事例検討会
 - b.「DV被害家庭児童の心的世界とその対処のための基礎研究」（継続中）
- FAXニュースの定期発行
- 市民講座 「いわゆる引きこもりについて一家族機能研究の立場から」
10月30日（日） 齋藤学先生（家族機能研究所長・齋藤クリニック理事長）
- 職員研修会
- 埼玉精診HPの充実
- メンタルクリニックマップ作成
- 会誌「さいせいしん」作成
- 平成20年度県知事精神保健福祉事業功労者表彰：島上實先生
- 自殺予防対策委員会（調査継続）・さいたま市自殺対策医療連携事業調査
- ◎埼玉精診産業メンタルヘルス委員会準備⇒田井良輔先生が窓口。
- ◎東日本大震災避難者への支援活動

6. その他

埼玉県精神科医会幹事：島上實先生
さいたま市大宮医師会長：湯澤俊先生